

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2022年7-9月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は381社から回答があった。景況判断DIは▲15(3期連続で変わらず)となった。来期の見通しは▲18となり、3ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点については、「従業員の不足」の回答割合が増加した。「その他」の記述回答では、3期続けて燃料費の高騰を懸念する声が多く寄せられた。

以下、その他業況感DIの内訳

2022年4-6月期に対して、

- ・売上高DIは▲7で、3ポイント悪化
- ・処理量DIは▲12で、1ポイント改善
- ・営業利益DIは▲8で、8ポイント改善
- ・資金繰りDIは▲1で、1ポイント悪化
- ・借入難易度DIは9で、1ポイント悪化
- ・設備投資DIは2で、2ポイント改善
- ・従業員数DIは▲6で、8ポイント悪化
- ・契約単価DIは、収集運搬が3で、8ポイント悪化
処分が7で、2ポイント悪化

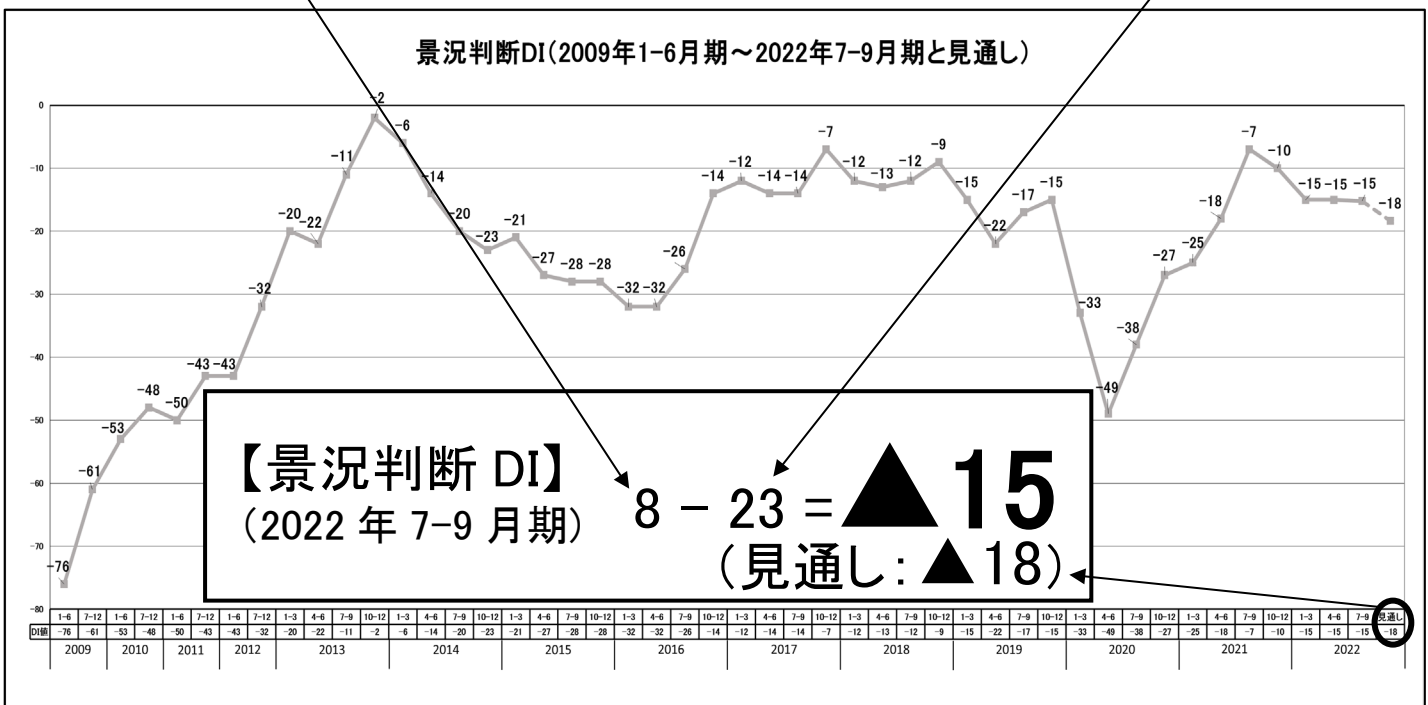
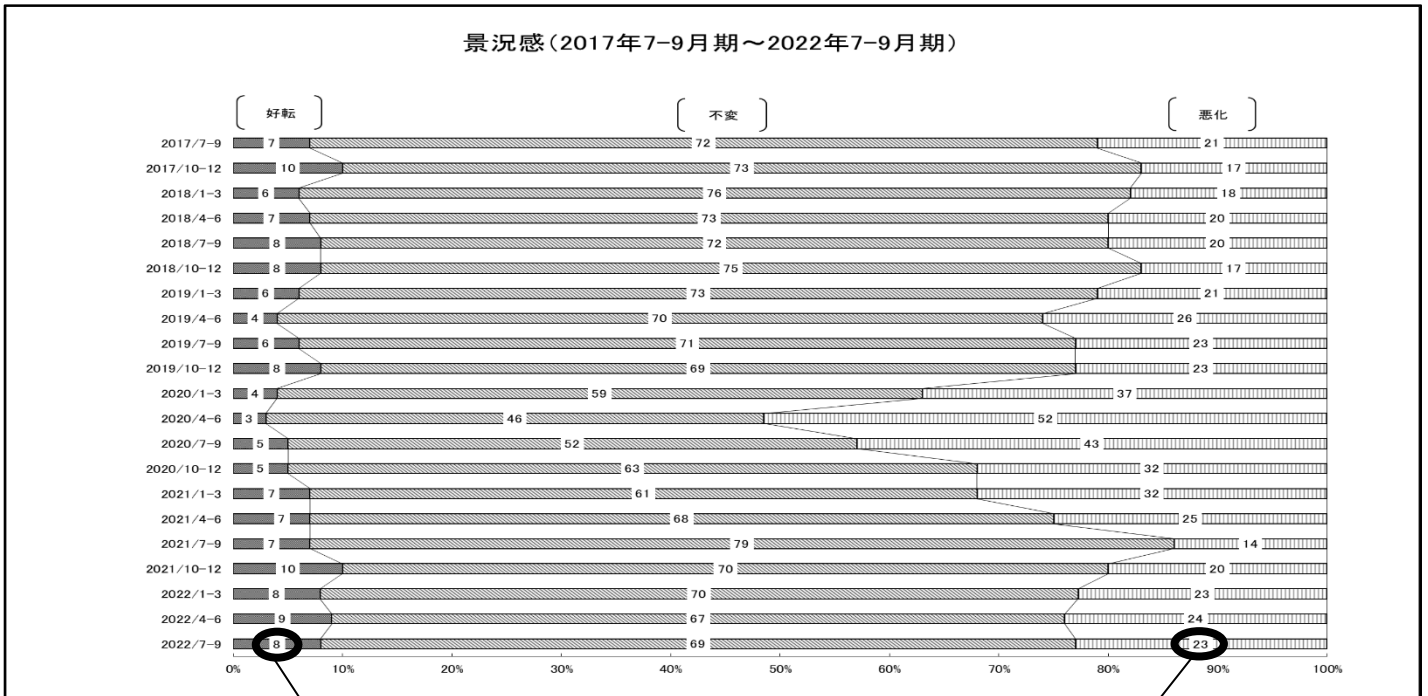
- 売上高の動向については、前年同期比で3.7%減となった。
- 処理量の動向については、前年同期比で3.3%減となった。
- 経常利益率については、前年同期比で1.8%増となった。

※DIとはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」「増加」したなどとする企業割合から「悪化」「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

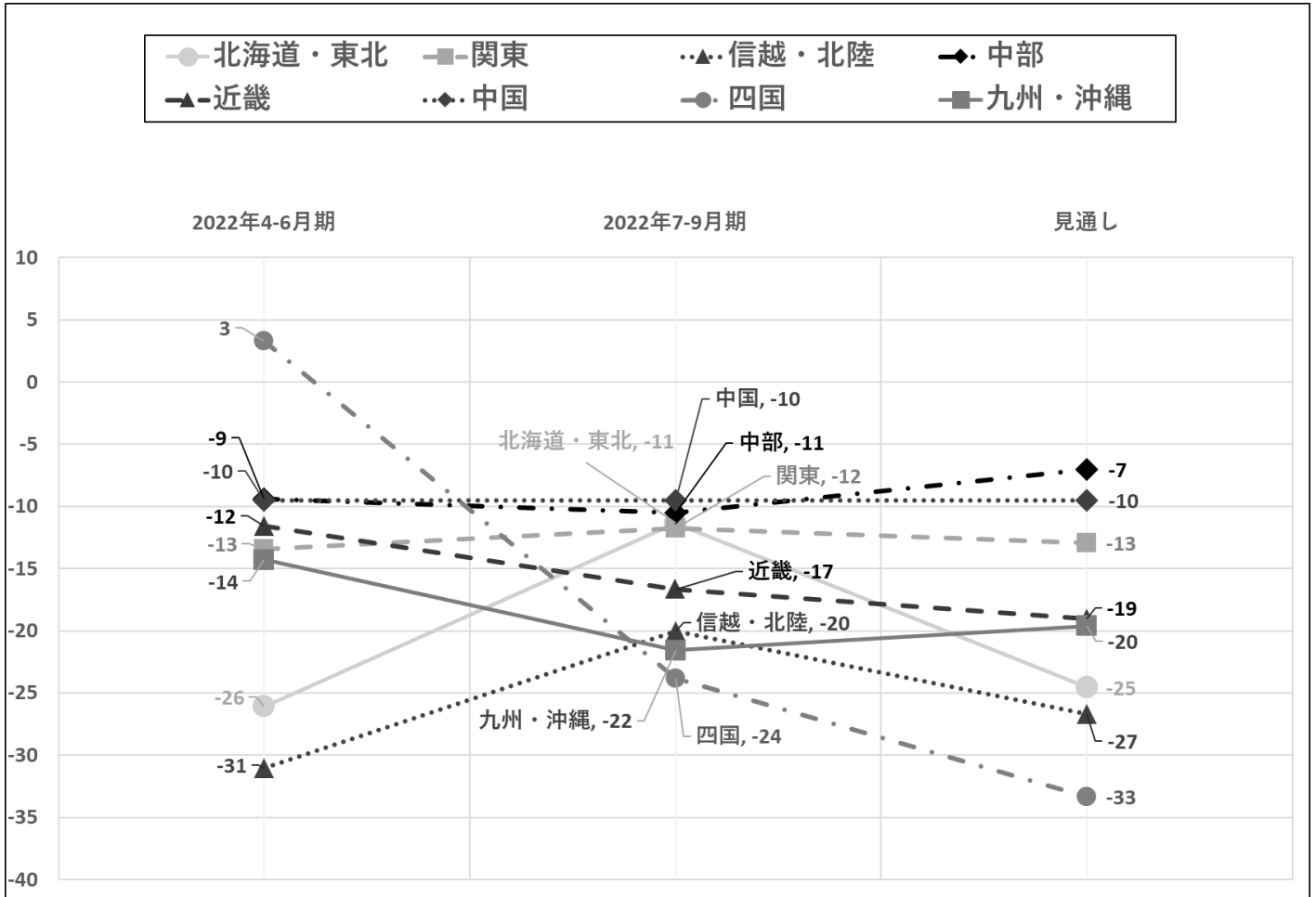
1. 景況感 DI(「好転」・「増加」-「悪化」・「減少」の企業割合)

(1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲15 となり、3 期連続で変わらず。
見通しは▲18 となり、3 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「北海道・東北」、「関東」、「信越・北陸」が改善した。
(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI 見通しをみると、「中部」、「九州・沖縄」が改善する見込みとなっている。
(3 ページ参照)



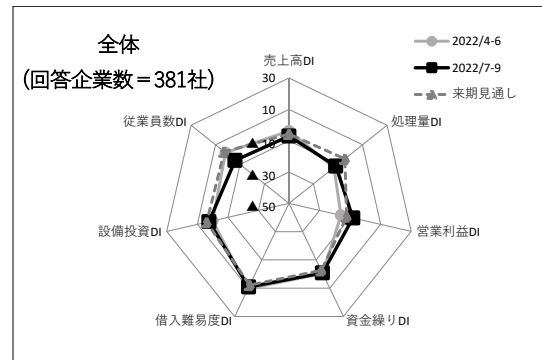
地域別景況判断 DI



	北海道・東北	関東	信越・北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
2022年4-6月期	-26	-13	-31	-9	-12	-10	3	-14
2022年7-9月期	-11	-12	-20	-11	-17	-10	-24	-22
見通し	-25	-13	-27	-7	-19	-10	-33	-20

(2) 売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI

- 前期と比べて、処理量 DI、営業利益 DI、設備投資 DI が改善した。
- 見通しは、売上高 DI、処理量 DI、設備投資 DI、従業員 DI が改善する見込みとなっている。

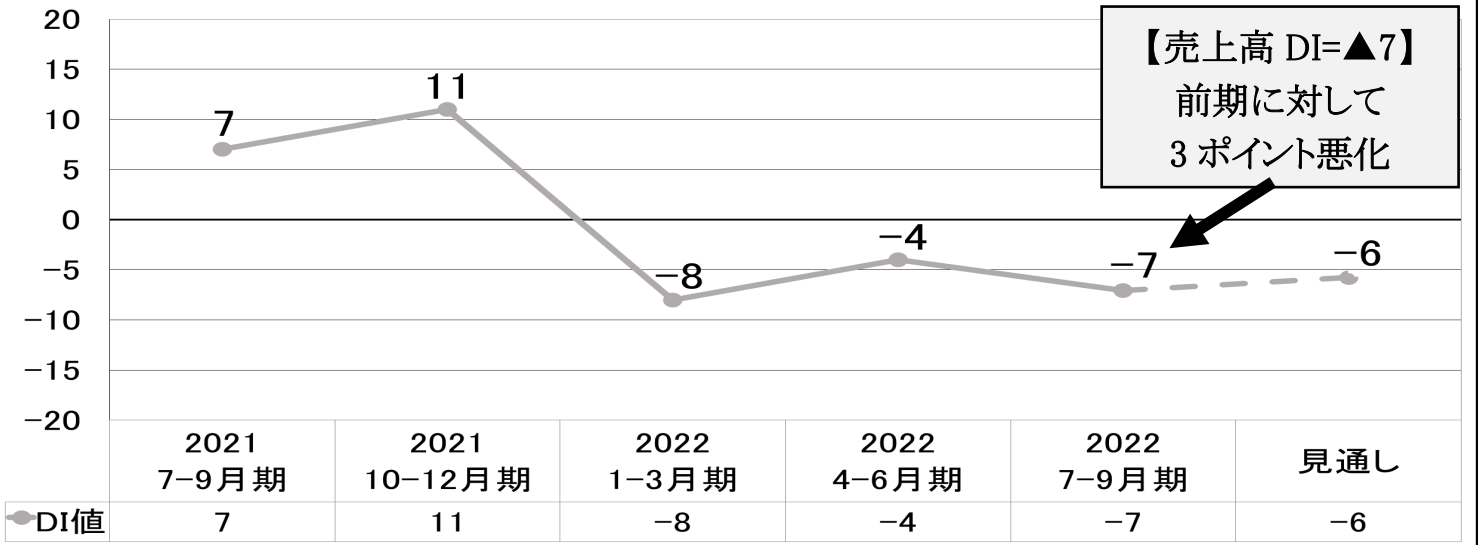


以下詳細(5~7ページ参照)

- ・売上高 DI は▲7 となり、前期と比べて 3 ポイント悪化した。
見通しは▲6 となり、1 ポイント改善する見込みとなっている。
- ・処理量 DI は▲12 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは▲4 となり、8 ポイント改善する見込みとなっている。
- ・営業利益 DI は▲8 となり、前期と比べて 8 ポイント改善した。
見通しは▲12 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・資金繰り DI は▲1 となり、前期と比べて 1 ポイント悪化した。
見通しは▲3 となり、2 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・借入難易度 DI は 9 となり、前期と比べて 1 ポイント悪化した。
見通しは 8 となり、1 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・設備投資 DI は 2 となり、前期と比べて 2 ポイント改善した。
見通しは 4 となり、2 ポイント改善する見込みとなっている。
- ・従業員数 DI は▲6 となり、前期と比べて 8 ポイント悪化した。
見通しは 3 となり、9 ポイント改善する見込みとなっている。

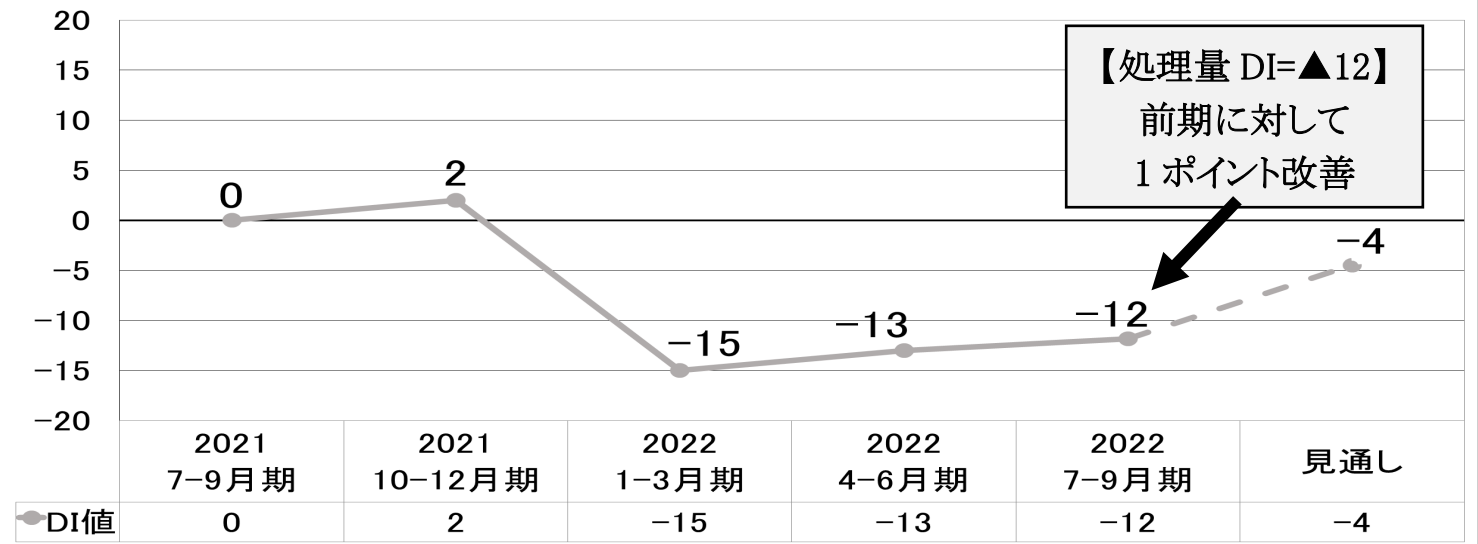
売上高DI

(2021年7-9月期～2022年7-9月期と見通し)



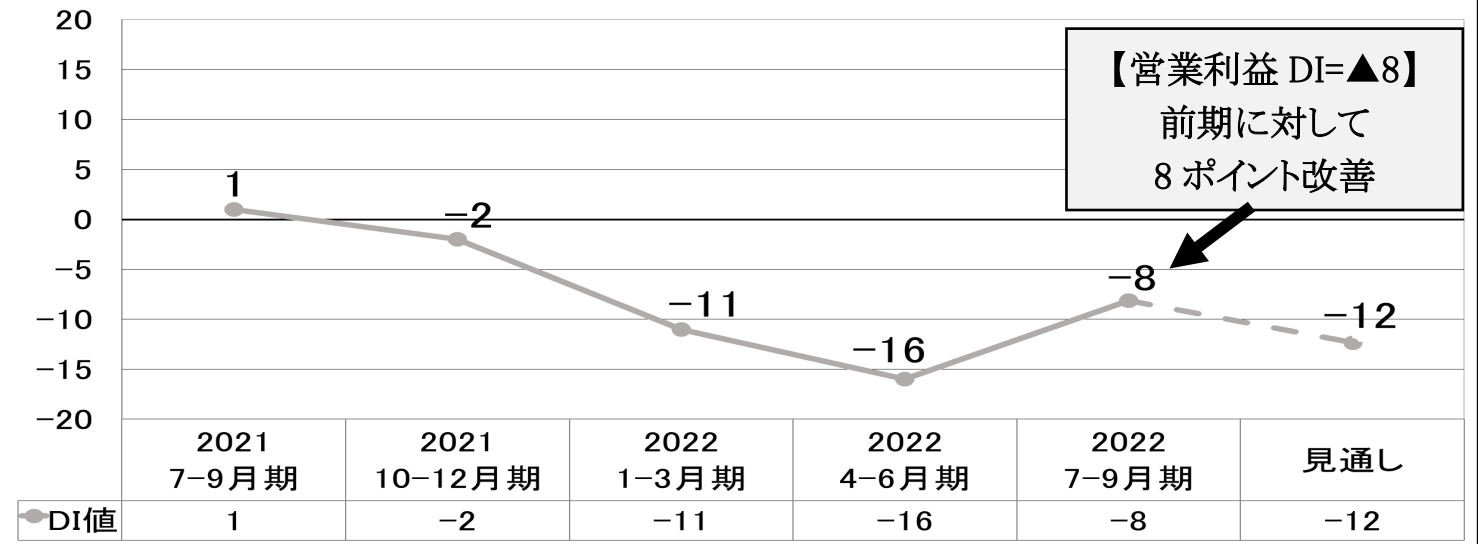
処理量DI

(2021年7-9月期～2022年7-9月期と見通し)



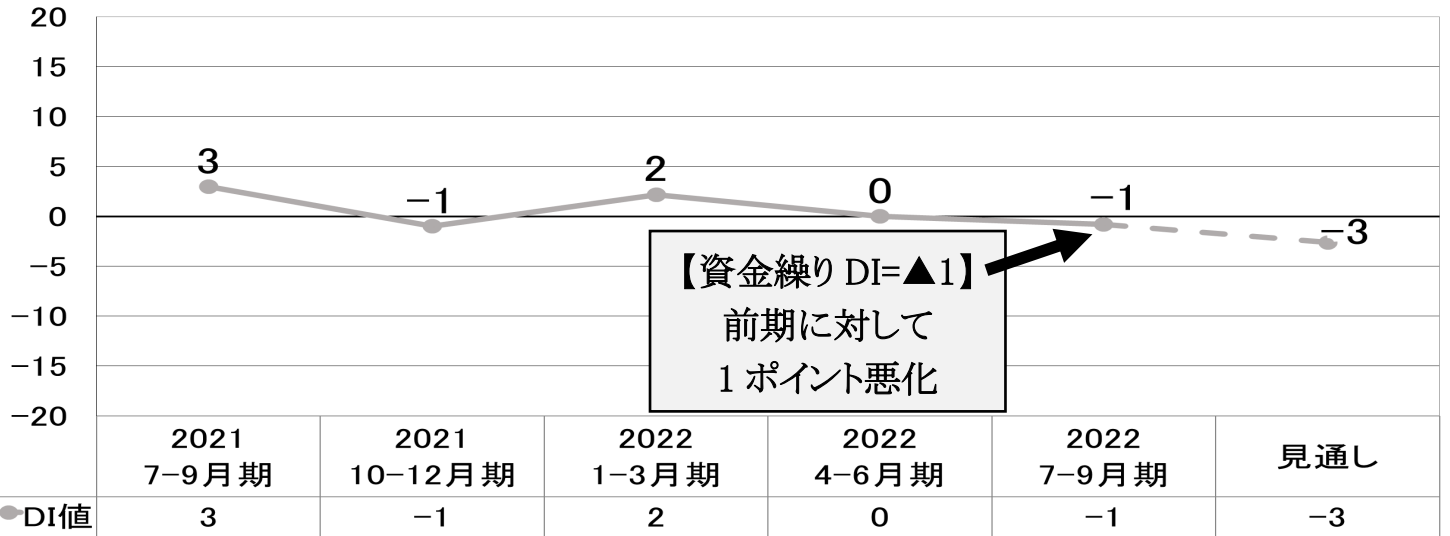
営業利益DI

(2021年7-9月期～2022年7-9月期と見通し)



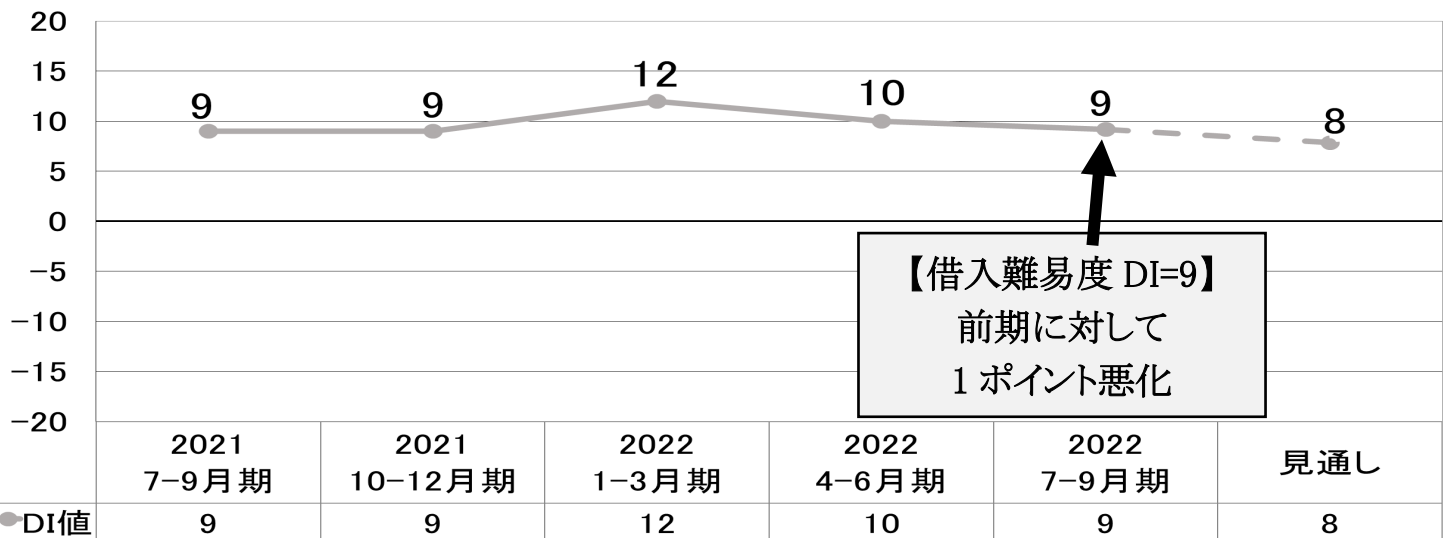
資金繰りDI

(2021年7-9月期～2022年7-9月期と見通し)



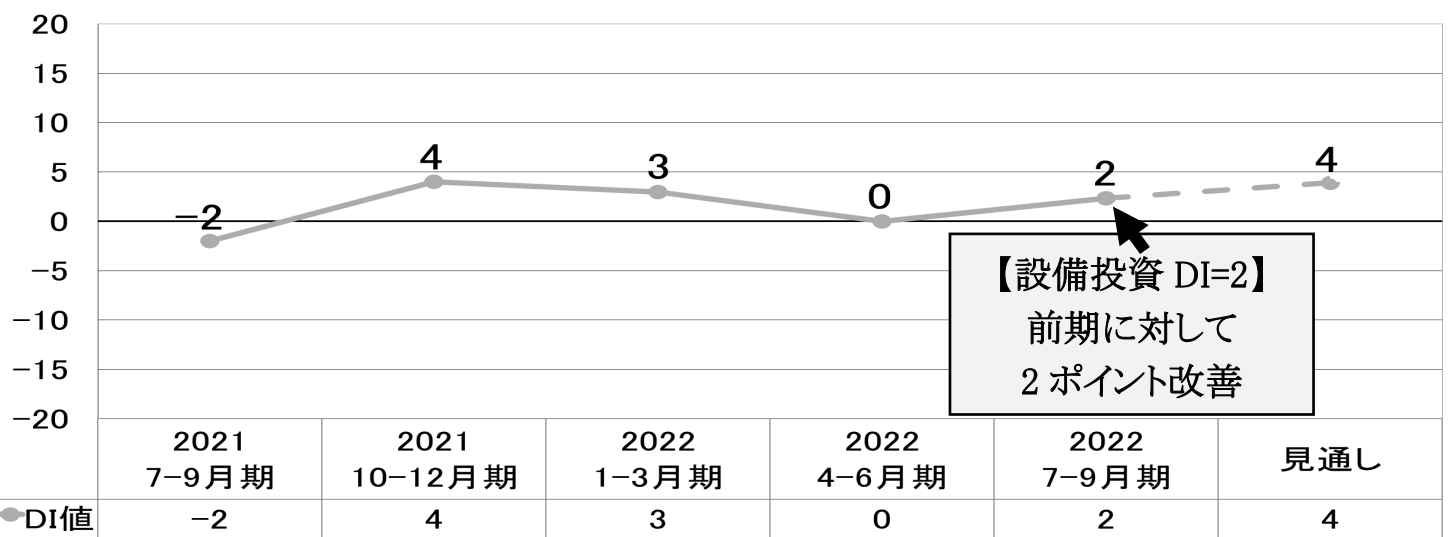
借入難易度DI

(2021年7-9月期～2022年7-9月期と見通し)

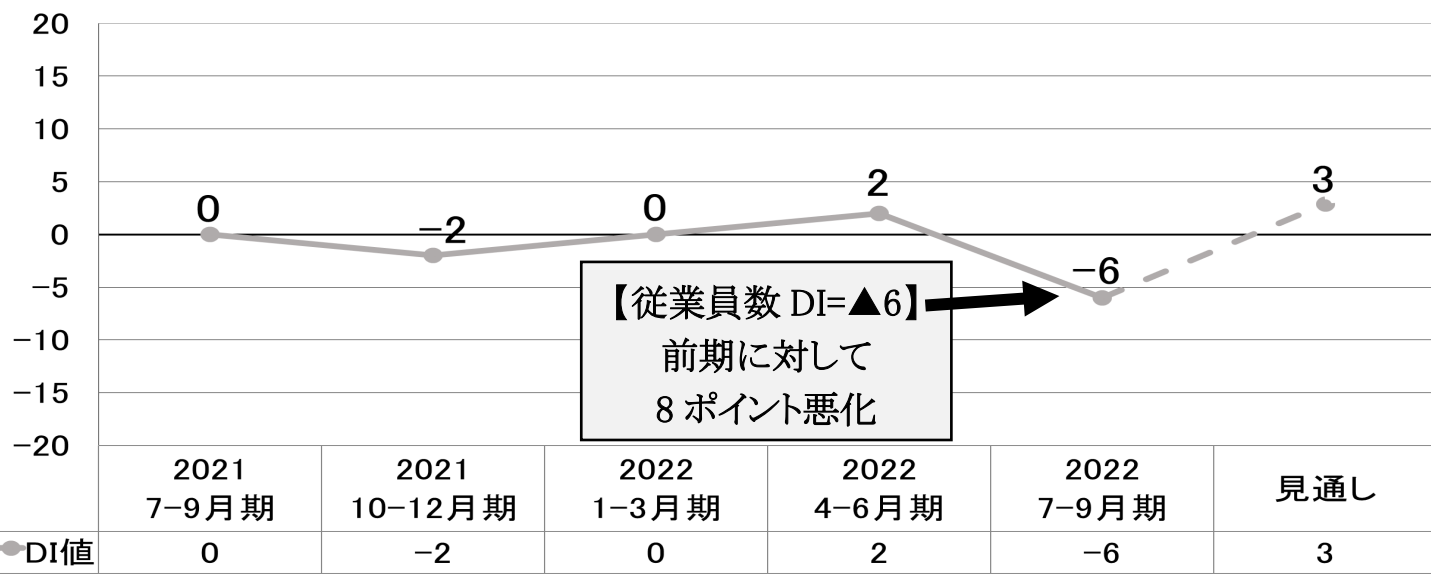


設備投資DI

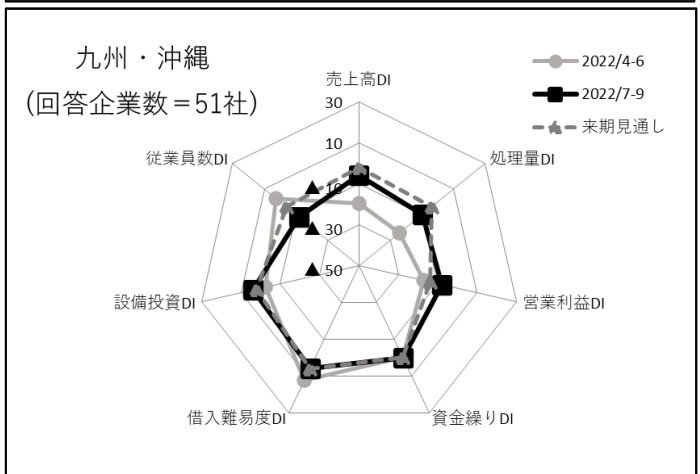
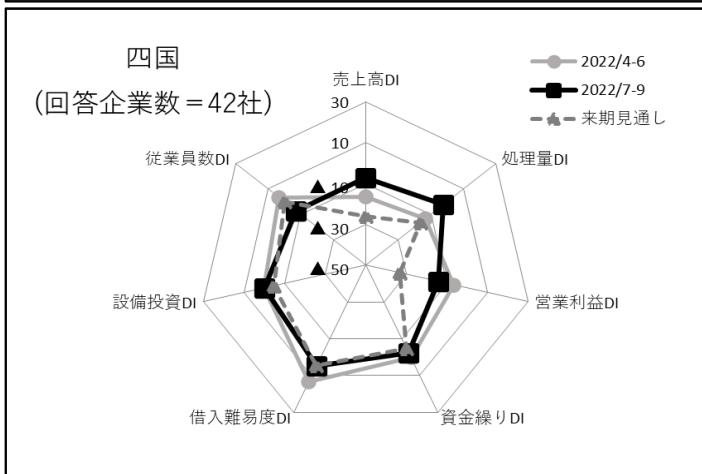
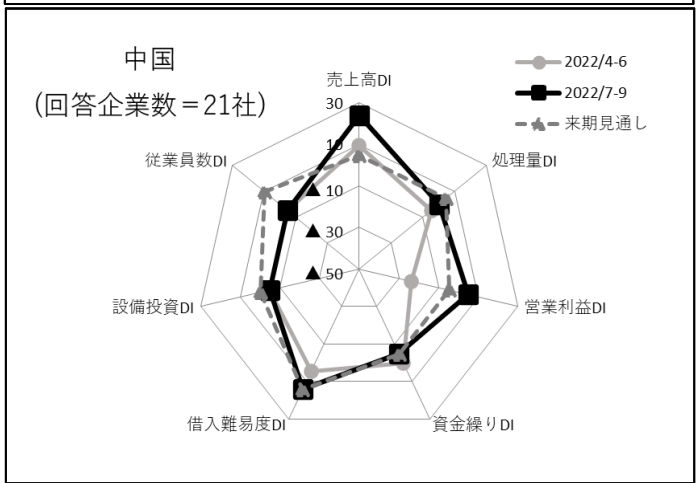
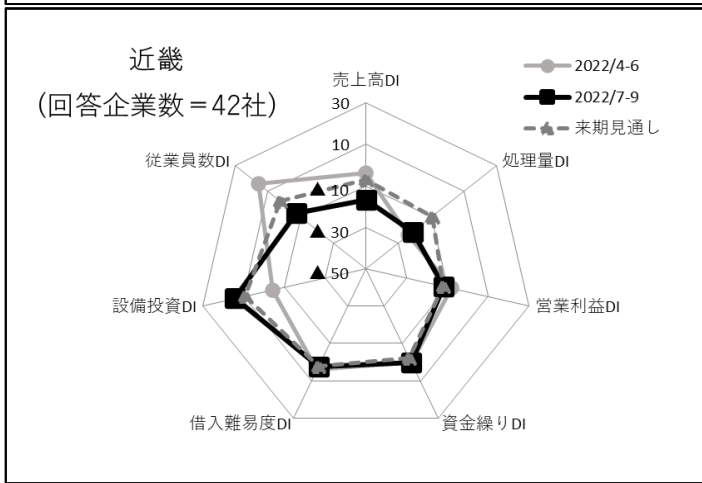
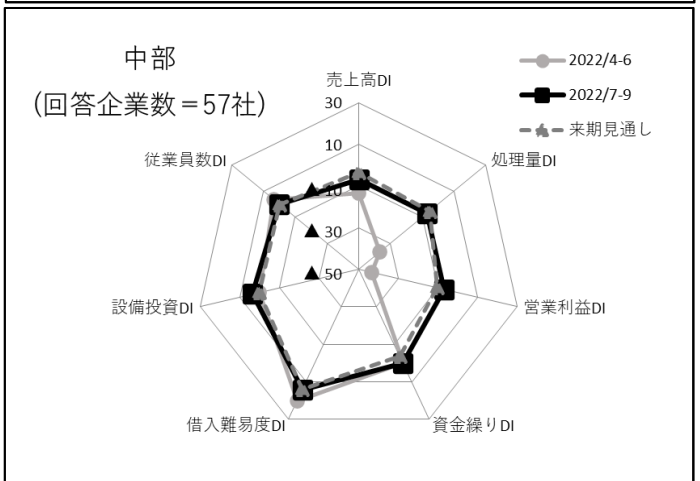
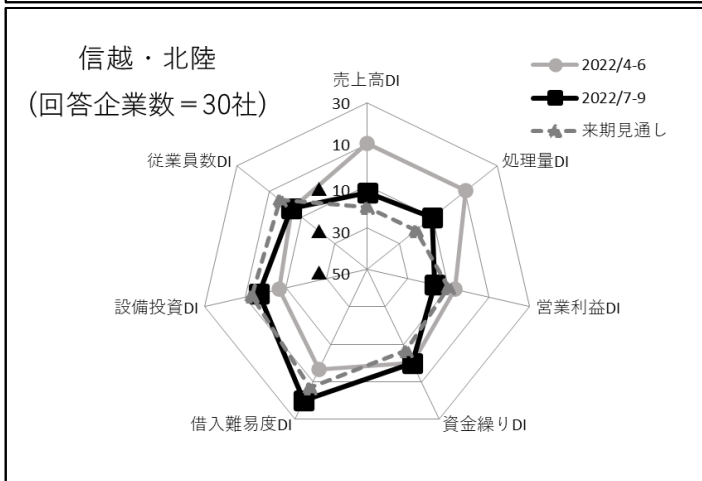
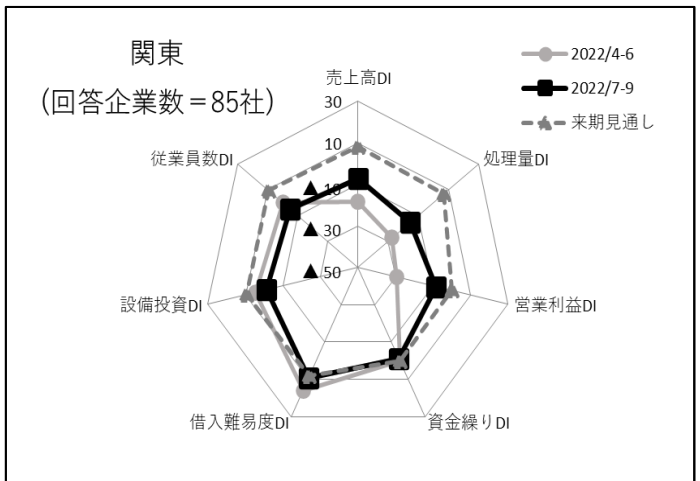
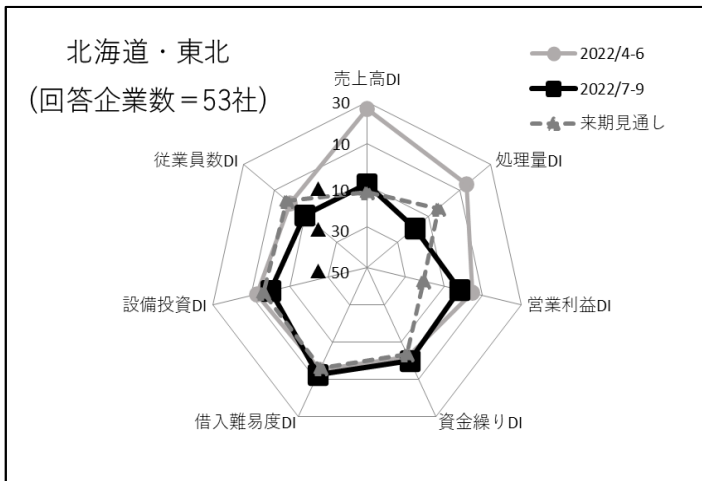
(2021年7-9月期～2022年7-9月期と見通し)



従業員数DI (2021年7-9月期～2022年7-9月期と見通し)

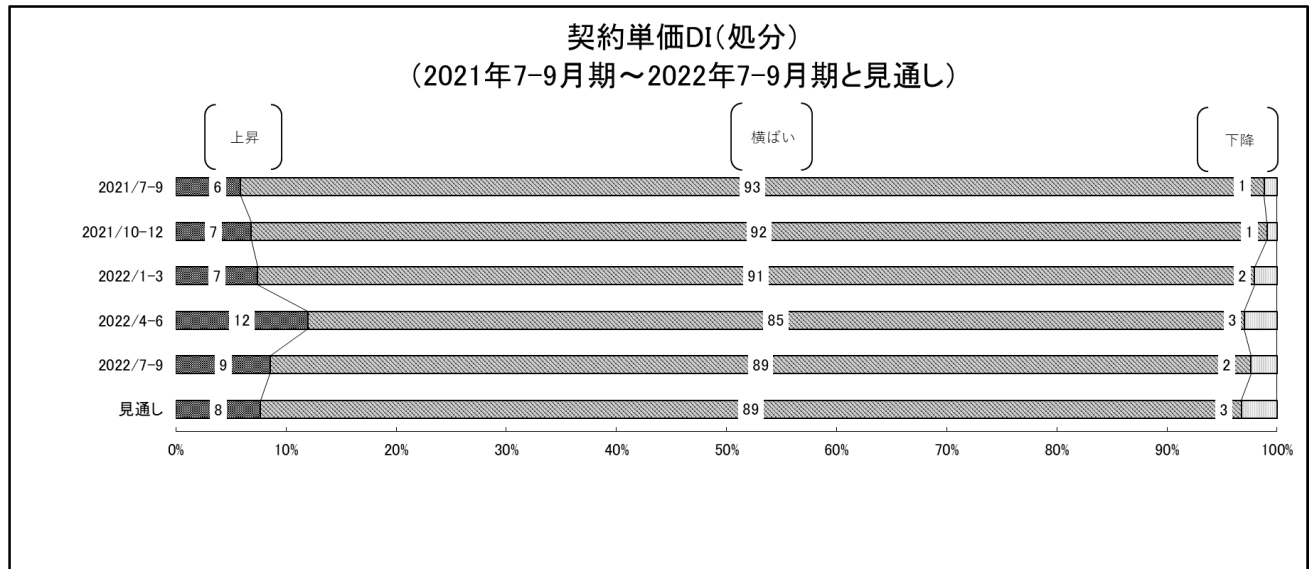
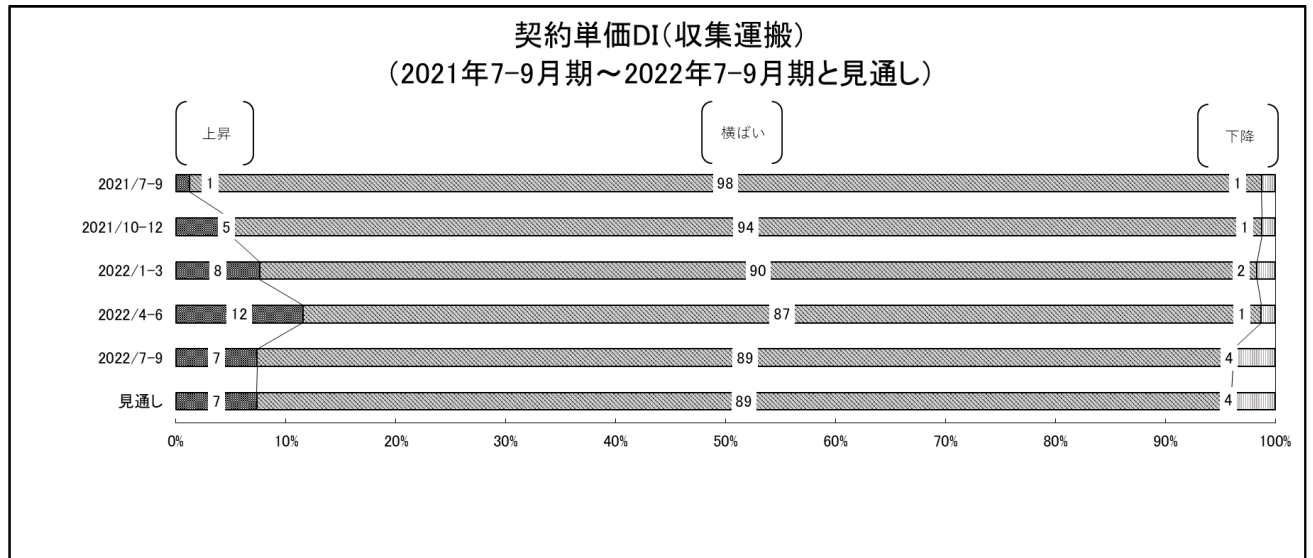


【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】



(3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 3 となり、前期と比べて 8 ポイント悪化した。
見通しは 3 となり、変わらない見込みとなっている。
- 処分の契約単価 DI は 7 となり、前期と比べて 2 ポイント悪化した。
見通しは 5 となり、2 ポイント悪化する見込みとなっている。



2. 売上高の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、3.7%減となった。

有効回答数:125社

単位:千円

前年売上高	2021年7月	2021年8月	2021年9月	平均
	7,521,102	7,244,026	7,734,343	7,499,824
今年売上高	2022年7月	2022年8月	2022年9月	平均
	7,452,541	6,949,862	7,259,837	7,220,747
前年比	▲0.9%	▲4.1%	▲6.1%	▲3.7%

3. 処理量の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、3.3%減となった。

有効回答数:138社

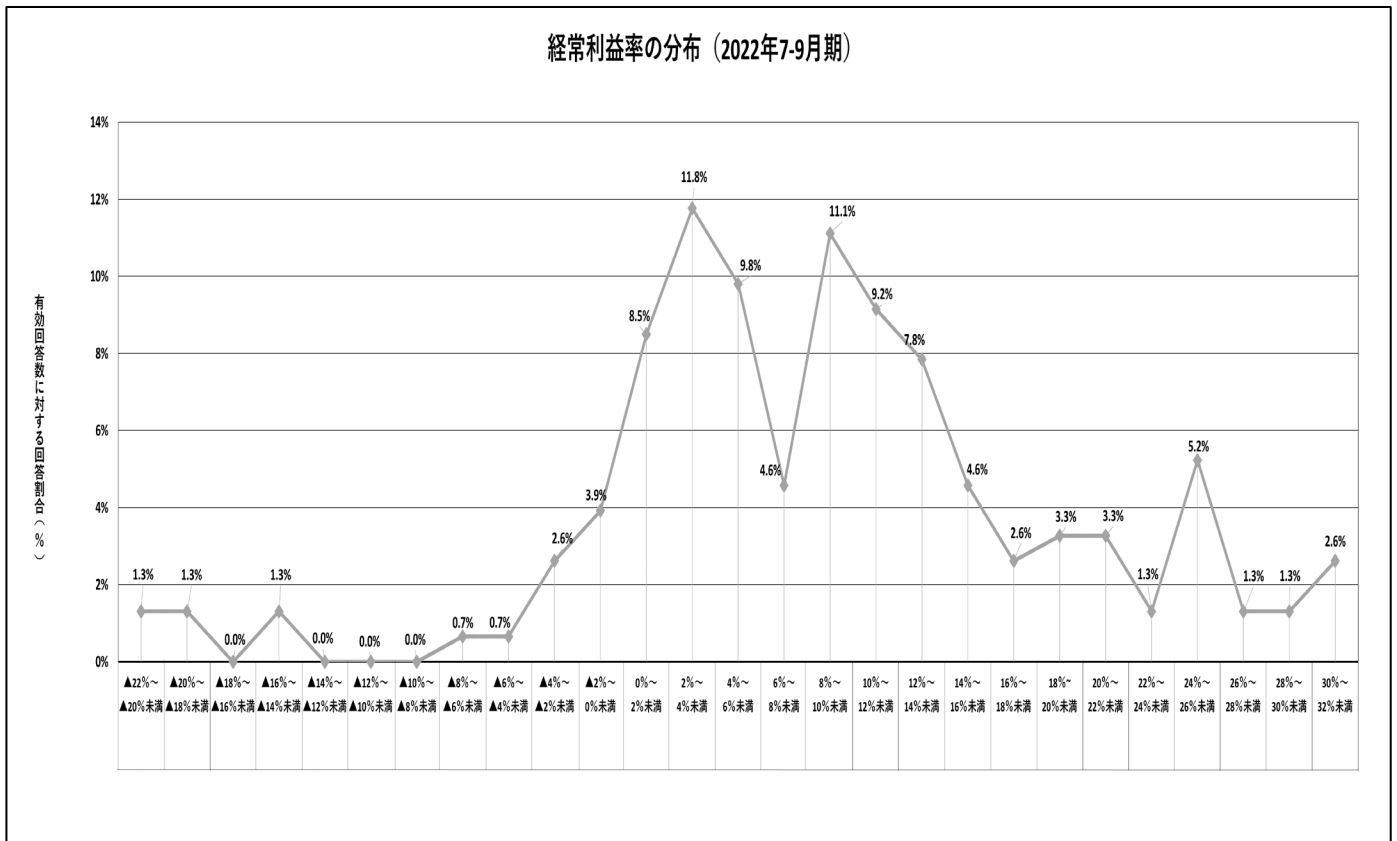
単位:トン

前年処理量	2021年7月	2021年8月	2021年9月	平均
	381,743	376,483	407,674	388,633
今年処理量	2022年7月	2022年8月	2022年9月	平均
	391,858	349,904	385,606	375,790
前年比	2.6%	▲7.1%	▲5.4%	▲3.3%

4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

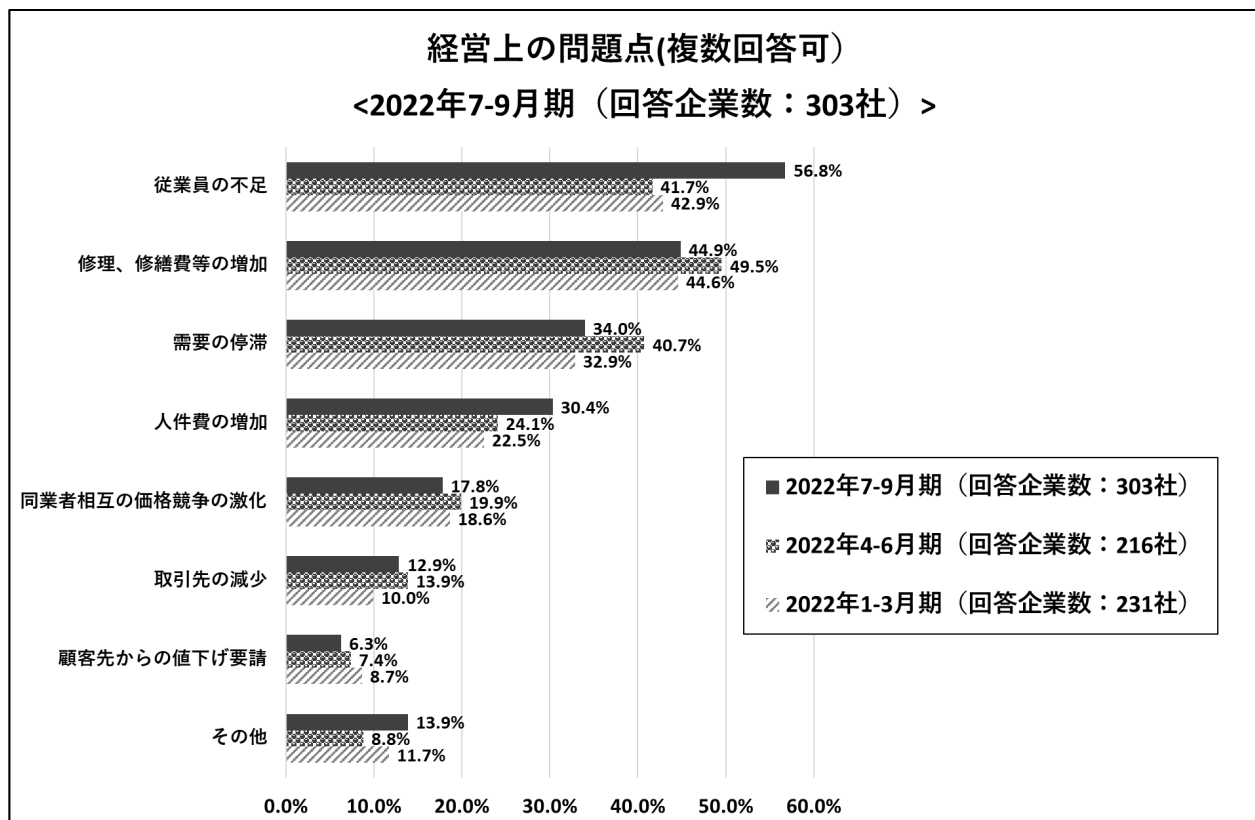
- 経常利益率の平均値は 8.9%で前期同期(7.1%)より改善した。

有効回答数:153 社



5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点として、「従業員の不足」の回答割合が増加した。
- 「その他」の記述回答では、3期続けて燃料費の高騰を懸念する声が多く寄せられた。



【その他記述回答の代表的な意見】

- ・ 燃料費の高騰 (全 21 件)
- ・ 円安や物価上昇の影響

〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

(1) 調査対象者

全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

(2) 調査期間

2022年10月6日～10月31日

(3) 調査方法

Webによるアンケート

(4) 回答数・回答率

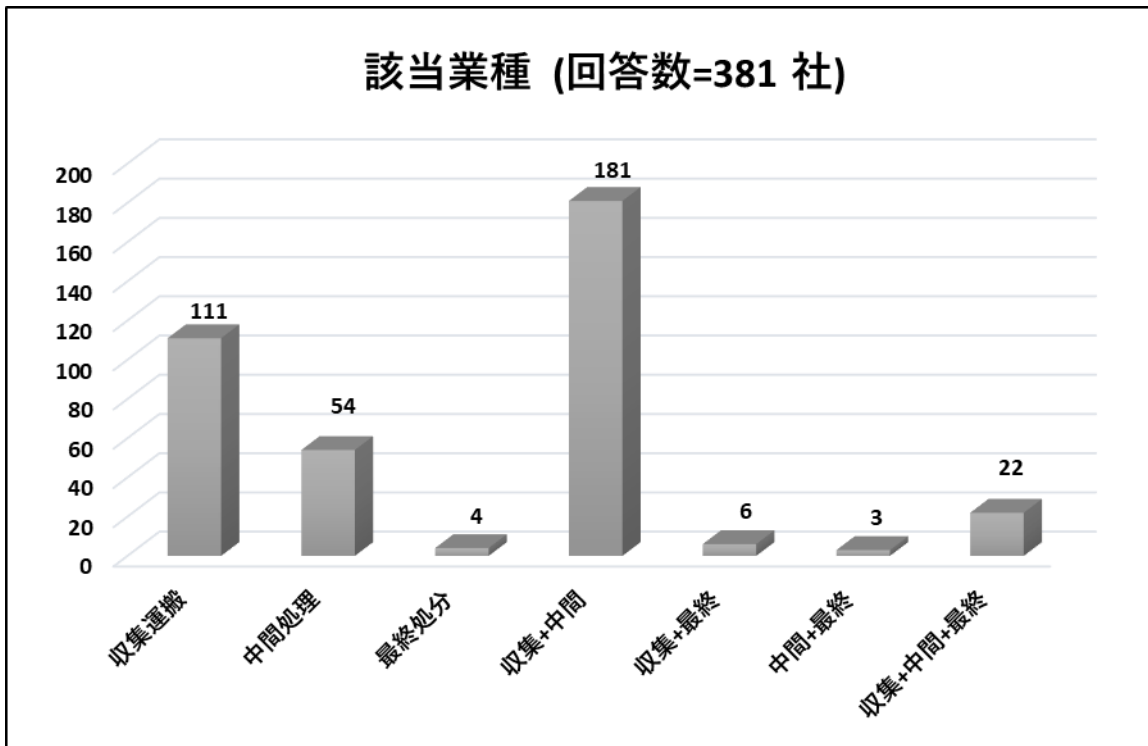
調査依頼企業数	1,251社
回答企業数	381社
回答率	30.5%

(5) サンプル構成

① 地域別構成

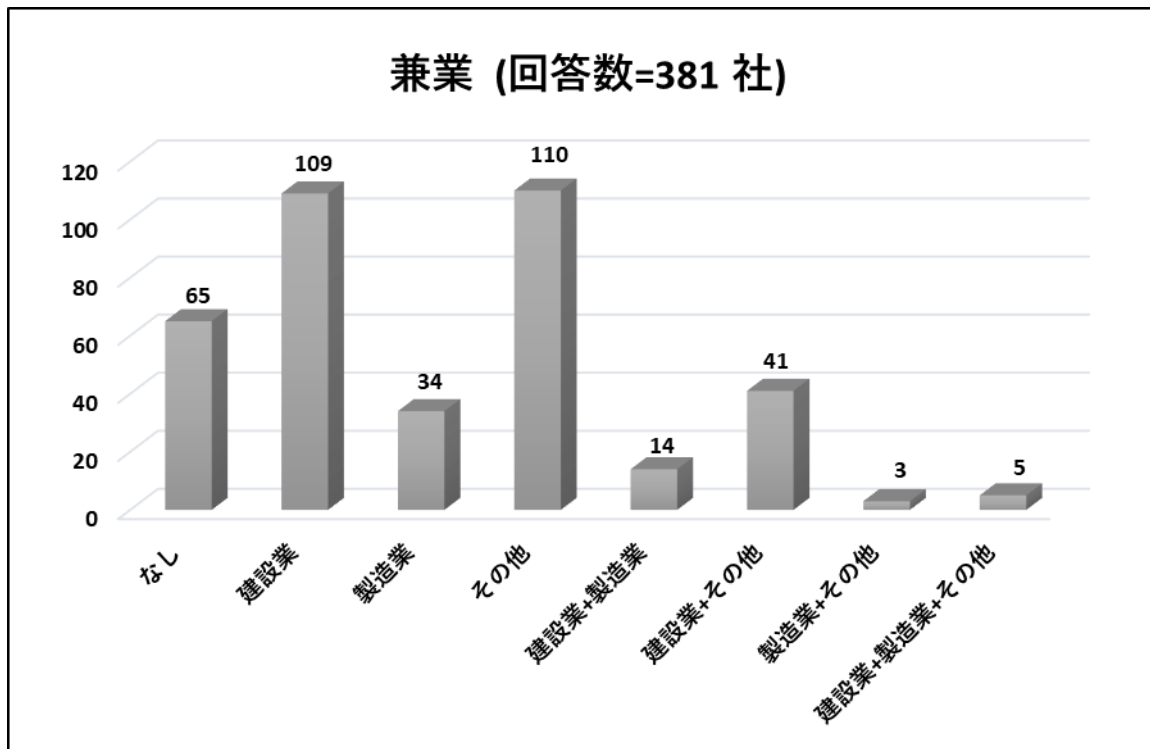
地域	企業数	構成比
北海道・東北	53	13.9%
関東	85	22.3%
信越・北陸	30	7.9%
中部	57	15.0%
近畿	42	11.0%
中国	21	5.5%
四国	42	11.0%
九州・沖縄	51	13.4%
合計	381	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	111	29.1%
中間処理	54	14.2%
最終処分	4	1.0%
収集+中間	181	47.5%
収集+最終	6	1.6%
中間+最終	3	0.8%
収集+中間+最終	22	5.8%
合計	381	100.0%

③ 兼業別構成



兼業	企業数	構成比
なし	65	17.1%
建設業	109	28.6%
製造業	34	8.9%
その他	110	28.9%
建設業+製造業	14	3.7%
建設業+その他	41	10.8%
製造業+その他	3	0.8%
建設業+製造業+その他	5	1.3%
合計	381	100.0%